



山崎泰昌 議員

財政改革

柳沢北浜地区土地区画整理事業の見直し

苦渋の決断、平成32年度まで延長

質問 平成9年度に総額69億円で事業着手した柳沢北浜土地区画整理事業が今回の見直しで93億円となり、20億円以上の違いが出ている。

また、事業が予定どおり進まない場合は、一般財源、財政調整基金まで投入するというのは、綿密な計画と言えず、事業自体の見直しをするべきではないか。
福土地域整備課長 社会経

済の変化、交付税の減額、保留地の販売不振等の要因があった。保留地の売り上げがこの事業の大きな財源であり、販売しながら進めていくために32年まで延長した。町としても苦渋の決断である。

質問 コスト縮減や効率化を図るため、勤務評価制度を取り入れることになっているが、1年以上も内容を

検討中というのは、時間がかかり過ぎではないか。
沼崎町長 職員研修や試行

などを通じて勤務評価の理解や評価基準の共有化を図り、精度を高めたいたいのでもう少し時間がかかる。
質問 県では一般職の給与を削減するが、町でも財政改革を進める姿勢を示すため、県と歩調を合わせては
沼崎町長 行政改革も計画どおり進むので考えていない。

教育行政 小学校の統廃合は 新年度より素案作り

質問 平成26年度までに荒川、大浦、轟木、織笠が複式学級になることが想定されているが、早く行動しないと子どもたちの学力、身体能力、そして学校設備にも影響がでるのである。
松尾教育長 統廃合については、教育委員会議でその方向性を検討しなければならぬと考えている。子どもたちの学力、身体能力、学校設備に及ぼす影響についても検討するに当たっての重要な問題だと思っている。
質問 平成26年度の事態を

想定しているながら、なぜ行動しなかったのか、それとも行動できなかったのか。
澁谷教育次長 平成10年度の出生数が208人だったのが平成18年度で123人、6割ほどになった。この様な急激な変化を予想できなかった。この事態を昨年度の調査で知ることができたので、統廃合をやらざるを得ないものという認識のもとに、新年度より着実に素案作りを進める。

議員13人が一般質問

計画の作成は2、3年くらいかかると思う。



土地区画整理事業地内（山田病院前）